

ヒラメの種苗生産工程における飼育作業の評価と作業の効率化の検討

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 高橋, 庸一 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014399

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



ヒラメの種苗生産工程における飼育作業の評価と作業の効率化の検討

高橋庸一

飼育作業の簡素化と作業時間の短縮を目的としたヒラメの種苗生産方式において、飼育作業をその内容から7項目に分け、さらに全作業について所要時間を測定した。1986～1991年に行った種苗生産では、全作業時間の中で環境の測定と配合飼料の投餌が占める割合が最も高く、これらの作業の合理化が全作業量の軽減を図る上で特に重要であることが示された。また作業時間の測定結果から、現生産方式の作業工程の見直しと飼育作業のパターン化を行い、さらに種苗生産の工程にワムシを中心とした餌料培養の作業を含めた場合の飼育パターンについて検討した。

栽培技研, 21(2), 81-92 (1993)